



“森林資源を活用した観光” 推進に向けたマッチング・セミナー ～農山村地域と観光関連業者等とのネットワークづくりに向けて～ プログラム

- **主催** 林野庁
- **後援** 観光庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国山村振興連盟、(公社)日本観光振興協会、(一社)日本旅行業協会、(一財)地域活性化センター、(一財)都市農山漁村交流活性化機構
- **日時** 平成29年12月15日(金) 10:30～16:45 (個別相談/10:00～17:15)
- **場所** 「農林水産省」講堂
- **趣旨**

国土の約7割が森林で覆われる世界第2位の森林国である日本。北から南まで多様性のある美しい森林や、暮らしと繋がる里山など、豊かな自然と文化が育まれてきた農山村地域は、今や、海外の旅行者の憧れになっています。

また、成長戦略と地方創生の大きな柱である観光推進において、国有林の「レクリエーションの森」をはじめとする森林は、農山村における貴重な観光資源です。

しかしながら、森林を活かした観光を長期的なビジネスとして成り立たせるためには、地域が抱える個々・具体の課題について、その実情に応じた解決策を見だし、また、特性を活かした事業を展開していく必要があります。

そこで、農山村地域で観光客を受け入れている方々と、観光関係・森林体験プログラム関係の事業者やコンサルタント等が集い、新たなニーズや先進事例を学び、観光資源の磨き上げやマーケティングに係る支援策、個別相談をはじめとしたネットワークづくりを通して、それぞれの地域が明日から参考にできる具体的かつ様々な情報を提供するために、マッチング・セミナーを開催します。



◆当日の発表資料は、後日以下のページで公開されます。

《特設サイト》

http://mori-zukuri.jp/kanko_1215

『“森林資源を活用した観光”推進に向けたマッチング・セミナー』 プログラム

● 第1部（事例報告等）

10:30～12:35

- **開会挨拶** 牧元 幸司（林野庁 次長）
- **概要説明** 「**森林景観を活かした観光資源の創出にかかる取組**」
中野 亨（林野庁 国有林野部 経営企画課 国有林野総合利用推進室長）
- **基調報告** 「**観光・交流の状況の全体像等**」
太田 雄也（観光庁 観光地域振興部 観光資源課 課長補佐）
〔平成 21 年 4 月 農林水産省入省(生産局)、平成 23 年 4 月 大臣官房政策課戸別所得補償制度企画チーム、平成 23 年 9 月 経営局経営政策課、平成 24 年 10 月 農村振興局総務課、平成 26 年 1 月 農村振興局多面的機能直接支払制度検討室、平成 26 年 6 月 米国サンダーバード国際経営大学院留学(MBA)などを経て、平成 28 年 8 月～ 観光庁観光資源課課長補佐(現職)〕
- **事例報告①** 「**「体験価値」を高めるリノベーションとプログラム開発の新展開**」
与茂 雅之（㈱ピカ アウトドアリゾート事業部 エグゼクティブディレクター）
〔「人と人、人と自然のインターフェイスになる」をミッションに山梨県を中心に、キャンプ場、アウトドアリゾート、道の駅等を運営する ㈱ピカの営業企画部に所属。これまでにキャンプ場、リゾート施設、温浴施設などを 7 箇所の立ち上げに係り、既存事業のリノベーション・企画開発に携わる。現在は自治体や民間企業へのアウトドアリゾートのコンサルタント業務に従事。〕
- **事例報告②** 「**観光から移住につなぐ、「森とともに暮らす」リゾートタウンづくり**」
徳田 圭太（㈱東急リゾートサービス 資産管理部 建設管理グループ グループリーダー）
森山 幸恵（㈱東急リゾートサービス 資産管理部 建設管理グループ）
〔リゾート施設の運営会社で資産管理を担当。複合リゾート施設の活性化策として東急リゾートタウン蓼科にて「もりぐらしプロジェクト」を立案し、推進中。事業を通じて環境と経済の調和に取り組んでいる。〕
- **事例報告③** 「**女性目線の体験型プログラム開発 & PESOメディアを活用したプロモーション戦略**」
麻羽 たんぽぽ（(一社)はこねのもりコンソーシアムジャパン 理事）
〔森林セラピスト。和ハーブインストラクター。ハーバルセラピスト。産業カウンセラー。
2001 年より、ICT を活用した教育、知識共有のサービス企画や運用事業に従事。現在はオンラインからオフラインまでのコミュニケーションデザインを行うことを重視してプログラム開発、サービス企画を行っている。また自身で森を所有し日々森に親しむとともに森林セラピストとして活動している。〕
- **事例報告④** 「**企業・医療保険者等と連携した森林セラピーの新展開**」
安藤 伸樹（全国健康保険協会 理事長）
〔1978 年 3 月流通経済大学経済学部卒業、同年 4 月日本通運株式会社入社。2011 年 6 月営業企画部担当執行役員、常務執行役員を経て 2015 年 5 月日本通運健康保険組合理事長に就任。2017 年 9 月末に同社退社。同年 10 月全国健康保険組合理事長に就任、現在に至る。〕
浅原 武志（しなの町 Woods-Life Community 事務局長）
〔信濃町役場に入職後、森林セラピーを導入した地域活性化構想である癒しの森事業を担当。信濃町と都市部企業を 40 社以上提携させ、地域の活性化と企業の健全化を両立した連携モデルを樹立。林野庁山村再生支援センターマッチングアドバイザーを歴任後、長野県に出向。様々な包括協定をまとめるなど、都市と農山村をつなぐことを得意とする。平成 28 年 3 月 31 日で信濃町役場を退職し、14 年間公務員として地方創生に携わった。〕
- **事例報告⑤** 「**世界最大手の民泊サイト・Airbnb が「吉野杉の家」を創った意味**」
山本 美香（Airbnb Japan(株) 公共政策本部長）
〔大学卒業後、国連人口基金東京事務所ではプロダクティブ・ヘルスや女性のエンパワーメントなどの分野のアドボカシーを担当。その後大学院を経て、代理店にて様々な分野での経験を積み、現職。関心領域は、社会的イノベーション。英国ウォーリック大学政治国際学部、ロンドン経済政治大学院人権修士課程を修了。〕
- **総括報告** 「**多様化するニーズに対応した、新時代の森林を活用した観光・交流産業のあり方**」
宮林 茂幸（東京農業大学 地域創成学科 教授、美しい森林づくり全国推進会議 事務局長）
〔1953 年長野県生まれ。専門は森林政策学、山村経済学、森林レクリエーション学、村おこし論。
日本森林学会、林業経済学会、大日本山学会、日本緑化センター等の役員の他、多摩川源流大学運営委員長、山村再生支援センター代表、林野庁、環境省、国土交通省、東京都等の各種委員会の座長などを歴任し、産学官民の多様なセクターに関わり、実践的に全国の森づくりや地域づくりの活性化を手掛ける。博士(農学)。〕

● 休憩・個別相談

12:35～13:30

*会場内は、原則飲食禁止となっておりますので、食堂または休憩スペースで食事をお取り下さい。

*一部のブースは、休憩時間帯に個別相談を行っていますので、ご希望の場合は、この機会をご活用ください。

『“森林資源を活用した観光”推進に向けたマッチング・セミナー』 プログラム

● 第2部（ショート・プレゼンテーション）

13:30～15:25

● 概要説明

● グループA【旅行代理店】

① ㈱JTB コーポレートセールス「JTB の地域交流事業について」

大谷 聡（㈱JTB コーポレートセールス 霞が関第一事業部 営業第1課 課長）

〔東京日本交通公社に入社後、旅行業に従事、その後内閣府へ出向し、内閣官房地域活性化統合事務局参事官補佐を経験しJTBグループ本社に帰任後、旅行事業本部観光戦略室マネージャーとして地域の活性化における事業推進を担当し、現在に至る。〕

② ㈱阪急交通社「地域“超”密着で新たな可能性を探る」

室田 伸一（㈱阪急交通社 営業統括本部 マーケティング部 部長）

〔神戸大学文学部卒業。平成元年阪急交通社入社後、グリーンングツアー部(店頭販売用旅行商品の企画部門)勤務、経営企画部経営企画課、営業企画部マーケティング課を経て、平成29年より現職。地域との“超”密着による新しい商品開発、事業領域拡大を目指して、自治体との連携を中心としたマーケティングに従事している。〕

③ ㈱日本旅行「ヘルスツーリズムによる飯山市の観光資源活用と活性化への取り組み事例」

島崎 賢（㈱日本旅行 法人営業統括本部 チーフマネージャー）

〔1988年 ㈱日本旅行入社「新宿団体旅行支店(首都圏法人型)」にて法人 MICE 営業担当、その後「埼玉教育旅行支店」「長野県：上田支店(地方総合型)」等、各支店長経験後、東日本営業本部(営業担当教育)を経て2012年より「沖縄インバウンド・MICE 営業部(地方創生推進関連等)」を立ち上げる。現在は、本社営業企画本部にて MICE 営業関連及び地方創生関連に携わる。趣味は、マラソンと読書、そしてお酒。〕

④ 近畿日本ツーリスト㈱「近畿日本ツーリストグループが取組む、地域の魅力創出・インバウンド推進について」

廣島 隆（近畿日本ツーリスト㈱ 地域誘客交流事業部 業務課長代理）

〔昭和62年近畿日本ツーリスト㈱入社、東京メディア販売事業部(現、クラブツーリズム㈱)にて海外・国内ツアーの企画・手配・販売を担当。平成24年中日本高速道路出向(高速道路沿線の観光振興)、平成27年大村市観光コンベンション協会出向(着地型観光の推進)。平成28年より現職、阿寒摩周国立公園のプロモーション動画作成、復興庁「新しい東北」インバウンド推進事業、林野庁「森林景観を活かした観光資源の創出」事業等に従事〕

⑤ ㈱ジェイアール東日本企画「地域と産業と人を繋げるレール JR 東日本グループの観光推進プラン」

高橋 敦司（㈱ジェイアール東日本企画 常務取締役営業本部長）

〔JR 東日本グループにおける地域創生の第一人者。グループの旅行会社びゅうトラベルサービス代表取締役社長、JR 東日本本社営業部観光流動創造部門部長などを歴任。クルーズトレイン四季島のプロジェクト責任者も努めた。現在広告会社ジェイアール東日本企画にてプロモーションや観光インフラづくり、人材育成、一次産業六次化や海外進出支援、DMO 支援などを推進中。東京都をはじめ各自治体の観光委員等公職経験も豊富。〕

● グループB【旅行情報サイト】

⑥ アソビュー㈱「アソビューの地域活性化についての取組」

野々松 秀和（アソビュー㈱ エリアプロモーショングループマネージャー）

〔アソビュー(株)新卒入社後、パートナーコンサルタントとして、全国500プラン以上の体験商品の販路整備をサポート。その後、最年少で関西支社長に就任。全国各地の体験事業者、自治体の商品造成支援・プロモーション等の観光振興事業に従事〕

⑦ ベルトラ㈱「心を揺さぶる」体験の提供 ～ベルトラからのご提案～

武部 光子（ベルトラ㈱コーポレートコミュニケーション部長）

〔2006年2月ベルトラ株式会社入社。海外の着地型体験アクティビティの仕入れ業務に従事。ヨーロッパやアメリカ、カナダ、中南米などをメインに、旅先で参加するアクティビティ催行会社と交渉し、ベルトラでのプロモーションを実施。2016年10月より、広報担当。現在は、広報業務と兼任にてインバウンド商品の開拓、コンサルティングを担当。〕

⑧ ㈱スペーススキー「アウトドア専門求人サイト「アウトドア求人ナビ」・キャンプ場検索予約サイト「なっぶ」のご紹介」

中田 力（㈱スペーススキー ツーリズム・アウトドア事業本部 本部長）

〔山梨県を中心にキャンプ場を展開するPICAグループ、群馬県にある日本一とも言われるキャンプ場北軽井沢 SWEETGRASS で開発業務に従事、2015年より株式会社スペーススキーに入社、培ったノウハウを全国に広めるべくキャンプ場検索予約サイトなっぶの導入を推進している。〕

⑨ Fun Japan Communications「親日アジア圏430万人のコミュニティ『FUN! JAPAN』が作り出すデジタルマーケティング」

石田 和也（Fun Japan Communications ゼネラル・マネージャー）

〔日本通運株式会社に入社後、現場業務を経て管理部門での電子会計化や、IT 部門での顧客向けプロジェクトの業務に従事。その後、事業開発部門にて新規事業である FUN! JAPAN を立案。2016年10月に業界トップ4社によるジョイントベンチャーFun Japan Communications を立ち上げ、現職に至る。〕

『“森林資源を活用した観光”推進に向けたマッチング・セミナー』 プログラム

● グループC【プログラム提供者】

⑩ (NPO) 森林セラピーソサエティ「森林セラピー®による 新しい自然資源活用のご案内」

瀬上 清貴 ((NPO)森林セラピーソサエティ 理事長)

〔 医療の信頼性科学研究室 主宰。日本保健医療大学 保健医療学部 特任教授。元 厚生労働省東海北陸厚生局長。
元 独立行政法人福祉医療機構 筆頭理事 〕

⑪ (NPO) 日本エコツーリズム協会「日本エコツーリズム協会の活動紹介」

赤間 亜希 ((NPO)日本エコツーリズム協会 事務局スタッフ)

⑫ 日本クアオルト研究機構「ヴァルトクアで地域振興」

小関 信行 (日本クアオルト研究機構 事務局長)

〔 博士(芸術工学)。日本クアオルト研究機構 事務局長、(株)日本クアオルト研究所 所長。
日本初のクアオルト(療養地)学研究者。全国で日本型クアオルトや気候性地形療法を基本とするクアオルト健康ウォーキングの研究・指導。ドイツ全土のクアオルト鑑定者であり、気候性地形療法を見出したドイツ ミュンヘン大学アンゲラ・シュー教授より、日本で
の気候療法・気候性地形療法の研究・指導に関する全権を委任 〕

⑬ (有) パシフィックネットワーク(フォレスト・アドベンチャー)「森林資源を活用した観光推進プラン」

田桑 正樹 ((有)パシフィックネットワーク 取締役)

〔 2006 年日本で初めてとなる自然共生型アウトドアパーク「フォレストアドベンチャー」を山梨県は富士山麓にオープン。現在まで 25 箇所
を超える全てのパークの設計・施工に関わる。1966 年生まれ埼玉育ち。O 型の乙女座。中央大学卒。広告代理店勤務を経て、2003 年
11 月 有限会社パシフィックネットワーク設立。現在に至る。 〕

⑭ (NPO) 日本ロングトレイル協会「ロングトレイルと「歩く旅」の魅力」

安藤 伸彌 ((NPO)日本ロングトレイル協会 事務局員)

〔 1973 年生まれ。長野県小諸市にある安藤百福記念 自然体験活動指導者養成センター(公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財
団運営)勤務。世界各地のトレイルを歩いてきた経験を活かし、特定非営利活動法人日本ロングトレイル協会の設立時よりスタッフとし
て関わっている。 〕

● グループD【コンサルタント等】

⑮ 楽天㈱「楽天グループによる観光資源活用ソリューション」

中川 卓也 (楽天㈱ アドソリューションズ事業パブリックアカウントグループ マネージャー)

〔 2008 年楽天㈱入社。楽天グループのビッグデータを活用した広告ソリューションの企画提案に従事。2017 年 4 月より官公庁及び地方自
治体の課題解決を専門的に行うパブリックアカウントグループを発足し、マネージャーとして多数案件を担当している。 〕

⑯ ㈱リクルートライフスタイル「「遊び・体験予約」サービスについて」

坪内 克徳 (㈱リクルートライフスタイル 旅行営業統括部 事業推進部 着地型観光企画グループ 企画スタッフ)

〔 日本全国の行政、観光協会、DMO 様向けに着地型観光勉強会の講師として年間約 50 本のセミナー、ワークショップを実施。着地型観
光事業の促進に加え、岐阜県奥飛騨福地温泉での地域活性の為の音楽フェス「FUKUNE」プロデュース、山口県下関市にて女性をタ
ーゲットにした「ふく」の新名物「ふく恋盛り」開発等、様々な地域活性事業に取り組んでいる。 〕

⑰ (公財) 日本交通公社「世界遺産 富士山の森を往く」

吉澤 清良 ((公財)日本交通公社 観光地域研究部 次長)

〔 観光分野に特化したシンクタンクの研究員として、省庁からの委託業務、地方公共団体が取り組む観光振興の支援業務等を行ってき
た。「観光による地域活性化」「観光地のバリアフリー化」「人材育成研修等の企画・運営」に関する業務に深く関わる。近年は、「全国の
観光資源の評価に関する研究」に取り組んでいる。立教大学兼任講師(2003 年度～)、杏林大学非常勤講師(2013 年度～)。 〕

⑱ ㈱さとゆめ「地域と伴走して夢をかたちにする」

浅原 武志 (㈱さとゆめ 取締役 兼 長野支社長)

〔 信濃町役場に入職後、森林セラピーを導入した地域活性構想である癒しの森事業を担当。町と都市部企業を 40 社以上提携させ、地
域の活性化と企業の健康経営を両立したモデルを樹立。林野庁山村再生支援センターマッチングアドバイザーを歴任後、長野県に
出向し、様々な包括協定をまとめるなど、都市と農山村をつなぐことを得意とする。平成 28 年度で役場を退職し、現在は、株式会社さと
ゆめで全国の地方創生のお手伝いをしている。 〕

● レイアウト転換

*レイアウト転換時には、混乱を避けるため、着席のままお待ちください。

*椅子に「赤テープ」が貼ってある椅子は、レイアウト転換時に椅子を移動します。当該座席にお座りの場合は、レイアウト転換にご協力ください。

『“森林資源を活用した観光”推進に向けたマッチング・セミナー』 プログラム

● 第3部（グループ相談会）

15:28～16:45

● グループ相談会

- * セッション毎に、関心がある発表団体のグループにご移動ください。（各セッションの間に1分間の移動時間を設定しています）
- * 質問は、配布している「付箋」にご記入いただき、移動時間に各グループの前面にある「ホワイトボード」に貼り付けてください。
- * 円滑な運営のため、各発表者との名刺交換は「個別ブース」で行って頂きますよう、お願い致します。

	グループ A	グループ B	グループ C	グループ D
セッション1	①JTB コーポレートセールス	⑥アソビュー	⑩森林セラピーソサィティ	⑮楽天
セッション2	②阪急交通社	⑦ベルトラ	⑪日本エコツーリズム協会	⑯リクルートライフスタイル
セッション3	③日本旅行	⑧スペーススキー	⑫日本クアオルト研究機構	⑰日本交通公社
セッション4	④近畿日本ツーリスト	⑨Fun Japan Communications	⑬パシフィックネットワーク	⑱さとゆめ
セッション5	⑤ジェイアール東日本企画	○ピカ	⑭ロングトレイル協会	○東急リゾートサービス

- 閉会挨拶 木下 仁（林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室長）

● 個別相談

10:00～17:15

【会場レイアウト】

